

愛知県ハンガリー友好協会会報

2015年4月号

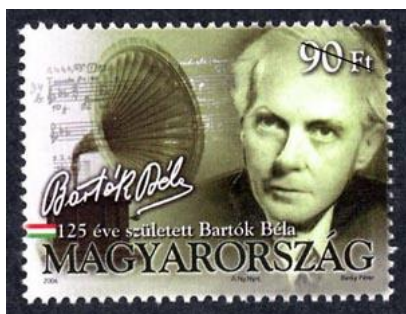
《ハンガリーフェスティバル in 愛知》

“ハンガリーの名窯とバルトークの響き”

木々の若葉の美しいころ、花壇ではチューリップがとてもきれいに咲いています。皆様お変わりございませんか？

さて、恒例の「ハンガリーフェスティバル in 愛知」の内容が決まりました。6月7日(日)13:30~16:30、名古屋国際センターホールに於いて“ハンガリーの名窯とバルトークの響き”と題して行います。

最初に、名古屋フィルハーモニー首席クラリネット奏者のロバート・ボルショスさんヴァイオリンのビルマン良弓光さん、ピアノの田中ゆりあさんで、ハンガリーの作曲家バルトーク・ベーラの作品を中心に、ボルショスさんの師であるコヴァーチ・ベーラと、ヴェイネル・レオーの曲を演奏していただきます。



バルトークの“3つのブルレスケ Op. 8c”はピアノで、“ラプソディ第1番「ラッシュュー」”はヴァイオリンでの演奏です。“クラリネット、ヴァイオリン、ピアノのためのコントラスツより第3楽章”は、1940年にニューヨークのカーネギーホールで、ヴァイオリニストのヨーゼフ・シゲティとジャズクラリネット奏者のベニー・グッドマンそして作曲者バルトークのピアノで、全曲(全3楽章)の形で演奏されました。

今回のプログラムはハンガリーフェスティバルならではの名曲ぞろいです。どうぞお楽しみください。

続いて、ハンガリーの名窯にはヘレンド、ジョルナイ、ホッローハーザがありますが、今回は当協会の法人会員である星商事(株)様のご協力により「ハンガリーの誇る高級磁器ヘレンドの世界」を紹介していただきます。ヘレンド創業からの歴史、手作りの技術、技法、絵付けなどについて、また、文様（ヴィクトリア、ロスチャイルド・バード、ウィーンのバラ、インドの華など）のいわれやエピソードなどをお話しいただきます。高価な器も何点かお持ちいただき拝見できるようです。会場には、ハンガリー刺繍サークルの作品とハンガリーの子供たちの絵画も展示いたします。また、ハンガリーのサラミ、ワイン、お菓子で交流のひとつ時をお楽しみください。

チラシができましたら改めてご案内いたしますので是非お出かけ下さい。



インドの華

13 : 30～14 : 00 演奏：クラリネット・ヴァイオリン・ピアノ

曲目：コヴァーチ・ベーラ：コダーイのオマージュ

ヴェイネル・レオー：ペレギ・ヴェルブンク

バルトーク・ベーラ：3つのブルレスケ Op. 8c

ラプソディ第1番「ラッシュュー」

クラリネット、ヴァイオリン、ピアノのためのコントラスツより第3楽章



演奏：ロバート・ボルショス
(名古屋フィルハーモニー首席クラリネット奏者)



ビルマン良弓光
(ヴァイオリン)



田中ゆりあ
(ピアノ)

14 : 00～15 : 00 講演：ハンガリーの誇る高級磁器ヘレンドの世界

講師：塩谷博子（星商事㈱広報担当）

ヘレンドの創業から今日にいたるまでの歴史を紹介します。

手作りによる高度な技術と華麗な文様を誇るヘレンドは、ヴィクトリア女王からダイアナ妃まで、ヨーロッパの王侯貴族たちに愛されてきました。大勢のペインターのなかでも、特に優れた技術をもつ「マスター」による作品は芸術的な価値の高い美術品として知られています。大相撲の優勝力士に贈られるハンガリー国友好杯は、ヘレンドの大きな壺です。



ウィーンの薔薇



ヴィクトリア・ブーケ

15 : 15～16 : 30 みんなで交流しましょう!

ハンガリーサラミ+パン、ハンガリーのお菓子、ハンガリーワインなど

展示：ハンガリー刺繍サークルの作品展

ハンガリーの子供たちの絵画展（サランタ・アラニ・ヤーノシュ小学校）

《ハンガリーの小学生と犬山の小中学生の絵画交換》

ハンガリーの子供たちと犬山市の小中学生の絵画交換は2006年から毎年行っていて10年目になります。今年はハンガリーのペーチ近郊エゲラーグの小学校のコヴァーチ・ユーリア先生(英語)から交換の申し出がありました。当協会副会長の藤谷さんの出張にあわせ飛脚をお願いして、3月14日ブダペストで犬山の子どもたちの絵画とエゲラーグのサラレンタ・アラニ・ヤーノシュ小学校の絵画の交換をいたしました。

この絵は頂いたうちの2枚です。ハンガリーフェスティバルで展示をいたしますのでご覧ください。



セゲディ・オティール 6年 「遠いところから」



ヴァルガ・エリカ 6年 鉛ガラス

《講演会「ハンガリーの政治と文化」の開催》

山本明代 (名古屋市立大学大学院教授)

2015年2月4日(水)にプレプク・アニコー先生とシュミット・アンドレア先生を名古屋市立大学にお招きして、市民向け講演会を開催した。前号で案内していただいたことによって、志村事務局長、三苦理事をはじめ、愛知県ハンガリー友好協会からも多くの方々が参加してくださった。

両先生は今年度埼玉にある城西大学で客員教授を務められているが、ハンガリーでは、

プレプク先生はデブレツェン大学の歴史学科で教鞭をとられている。ユダヤ人史の専門家であり、ハンガリー史研究者である寺尾信昭氏によって翻訳書『ロシア、中・東欧ユダヤ民族史』(彩流社、2004年)が日本でも出版されている。シュミット先生は、ハンガリー南部にあるペーチ大学の人文学部で国際関係論を教えておられ、ハンガリーの外交史、とくにヴィシエグラード4と呼ばれるチェコ、ポーランド、スロヴァキアとハンガリーとの地域協力の専門家である。

当日のプレプク先生の講演は、「ブダペシュトの近代化のなかのユダヤ人：1867年から2014年へ」と題するものであり、多くの写真や地図の映像を用いてお話しくださった。以下に講演の概要を紹介したい。ブダペシュトには19世紀末から20世紀初頭にかけてユダヤ系住民が数多く集まり、反ユダヤ主義者からは「ユダペシュト」とも揶揄されることもあった。ユダヤ人は、商工業者、弁護士、医師、新聞記者



などの専門的知識人として都市の発展を担った。市民的文化や生活様式の形成にも大きな役割を果たし、文学、演劇、オペラなどの娯楽の世界でも活躍した。1890年代から反ユダヤ主義的風潮が広まり、リベラルでコスモポリタンの、中産階級を代表するユダヤ人は攻撃の対象となった。第二次世界大戦下にはブダペシュトのユダヤ人も大きな被害を被ったが、東欧諸国の他都市とは異なって半数のユダヤ人がホロコーストの犠牲になることを免れた。社会主義体制の終焉後になって、ようやくユダヤ人アイデンティティを表現できるようになっている。



シュミット先生の講演は「ハンガリーの統合ヨーロッパへの道」と題するもので、2004年のEU加盟に至るまでの戦後のハンガリーの経済・外交政策をわかりやすくお話しくださった。第二次世界大戦後、社会主義陣営の一部となったハンガリーは、1956年に民衆が蜂起し、中立化を宣言したが、ソ連軍の侵攻によって弾圧された。その後、1968年のブレジネフ・ドクトリンによって、複数政党制の導入、自由選挙の実施、ワルシャワ条約の破棄と中立化がいずれも禁止されたことによって、ハンガリーは国の「自律性」を経済分野に求めた。しかし、1973年以降になると経済成長が鈍化し、国家財政赤字が増加し、借款も枯渇し、西欧諸国と比べて経済水準も大幅に低下した。そして1980年代になると、貿易相手がソ連やコメコン諸国から欧州共同体（EC）と欧州自由貿易連合（EFTA）に移り、その比重が増していった。体制転換後、冷戦構造の崩壊と統一ドイツの成立のなかでハンガリーは自立化を模索し、ヴィシエグラード協力を締結した。2004年5月のEU加盟後には、移動の自由や企業活動の活発化など、加盟の利点をいかしつつ、「東への窓」政策と呼ばれる旧ソ連圏へのアプローチを再開している。

両先生の講演の通訳はハンガリー史研究者の秋山晋吾氏（一橋大学）が務めてくれた。時間の関係で多くの時間をとることができなかったが、来場者から質問もあり、20名の参加者を得て盛会のうちに講演会を終えた。終了後にも両先生との意見交換をするなどして、ハンガリーの研究者から最新の研究成果を伺うことができた貴重な機会となった。



《 Hatodik Nagoyai Magyar Hanami 》

Idén tartottuk a hatodik nagoyai magyar hanamit. Az első ilyen rendezvény 2009-ben volt a Heiwa Kōen-ben és 2012-ig minden évben itt jöttünk össze hanamizni. Sajnos 2013-ban elmaradt a rossz idő miatt és helyette házibuliztunk. Majd tavaly és idén megint megrendeztük, de már nem a Heiwa Kōen-ben hanem az Ōdaka Ryokuchiban. A résztvevők magyarok, családtagjaik, valamint japánok, akik valamilyen formában érdeklődnek a magyar nyelv, kultúra iránt.

Általában az időjárás okozza a legtöbb fejfájást a szervezéssel kapcsolatban, de szerencsére ragyogó napsütés és kellemes meleg volt az idén. Sajnos viszont mivel az előző két hétben eléggé hűvös volt az idő, a virágok még nem nyíltak ki teljesen.

Én már kimentem reggel 9-re a parkba és felállítottam egy kis sátrat, amire ráerősítettem egy magyar zászlót, egyrészt, hogy jelöljem a jellegét az összejövetelnek, másrészt, hogy mindenki könnyen megtalálhassom minket. Tíz tájban jött az első résztvevő. Idén egy kicsit szerényebb volt a részvétel



a szokásosnál, összesen 20-an jöttünk össze. Négy magyar-japán család, egy japán család és egy páran egyedül jöttek. Mindenki hozott ételt, italt is magával. Például onigirit, karaagét, valamint kombini és bolti készételeket. Kellemesen telt az idő, a gyerekek játszottak a közeli játszótéren, míg a felnőttek beszélgettek. Egészen öt óra utánig kint voltunk a parkban, és csak akkor kezdtünk el hazaindulni, amikor már kezdett hűvös lenni.

Mindenkinek nagyon köszönöm a részvételt és már tervezem a jövő évi magyar hanamit.

Zombori Andor

《 第六回名古屋ハンガリー人会の花見 》

今年、第6回目の名古屋ハンガリー人会の花見を行いました。最初は2009年に平和公園で行い、2012年まで毎年、花見をしに平和公園に集まりました。2013年は残念ながら悪天候のため中止となり、かわりにホームパーティをしました。昨年と今年も花見をしましたが、平和公園ではなく、大高緑地公園でした。参加者はハンガリー人、その家族、なんらかのかたちでハンガリーの言語や文化に関わりのある日本人です。

開催に関していちばん頭を悩ます問題は天候ですが、今年は運良く暖かな晴天に恵まれました。残念なことに、それまでの2週間かなり寒かったもので、まだ満開ではありませんでした。



わたしは朝9時には公園に行って、テントを張り、そこにハンガリーの旗を立てました。ひとつにはこの集まりがどういう集まりであるかを示すためであり、もうひとつにはすぐに場所がわかるようにと思つてのことです。最初の参加者は10時頃にやってきました。今年はいつともよりも参加者が少なく、全部で20人でした。ハンガリー人と日本人カップルの家族が4つ、日本人の家族がひとつ、あと数人が個人で参加しました。それぞれがなにか食べ物や飲み物を持ち寄りました。おにぎりや、唐揚げ、コンビニやお店で買ってきたものなどです。子どもたちは近くの遊び場で遊び、大人たちはおしゃべりをして、楽しくすごしました。5時すぎまで公園にいて、肌寒くなってようやく家路につきました。

参加してくれたみなさん、ありがとうございました。来年もまたハンガリー人会の花見を
やろうと思っています。
ゾンボリ・アンドル（訳：早稲田みか）

●ハンガリー語を学んでハンガリーを知ろう！

「ハンガリー語入門講座」は毎月第2・4水曜日 10：00～12：00、名古屋国際センター5F第5会議室で行っています。指導は山口チーラさんです。授業前半はチーラさんのハンガリー語のスピーチを聞いて、質問文を作ったり答えたり、もちろんハンガリー語で。後半はハンガリーのテキスト「Halló,itt Magyarország! I」を勉強します。受講生はいろんなレベルの方たちですがチーラさんはとても上手に皆さんを伸ばしてくれます。チーラさんのご都合の悪い時は黒川ドーラさん、ニラッシュ・アークネッシュさん、フルディ・タマーシュさんをお願いしています。ハンガリー人の先生方から新しい情報がいっぱい聞けて楽しい授業です。難しい言語ですが言語を学ぶことによってハンガリーを知ることができます。それに脳のトレーニングになるのでは……。ハンガリー語で話しませんか？

●ハンガリー刺繍で作品を作しましょう！

「ハンガリー刺繍サークル」は毎月第3火曜日 9：30～12：00 名古屋国際センター5F第2会議室で行っています。1月のサークルではマチャー地方の刺繍について、早稲田みか先生から映像を見ながら講義を受けました。ハンガリーのどちらの地方で、どんな色やデザインなのか……。背景を知ることによって作品作りも楽しくなります。

最近では、エプロンに仕立てたり、ピアノカバーやブラウスに刺繍をしている方もあります。皆さんとてもお上手な方ばかりで素敵な作品が出来上がってきます。ハンガリーで習ってらした齋藤照美さん、島村美奈子さん、ハンガリー全般に詳しい早稲田みか先生、ベテランのサークルの皆さんと協力して、協会としての資料作りもしたいと思っています。

一緒にハンガリー刺繍を楽しみませんか？

